

『日本靈異記』「依漢神崇殺牛而祭又修放生
善以現得善惡報縁」

閻羅王判断之
閻羅王判断し

【之】

閻羅王即告之言

閻羅王即ち告之言(のたま)はく

〇

彼家長依漢神崇而禱之祀

七牛聞之

彼の家長漢神の崇りに依りて禱りて祀る

七の牛聞きて

毎年殺祀之以一牛

猶後報之

年毎に殺し祀るに一牛を以てす

猶ほ後に報いむ

於茲思之

茲に思ふ

妻子置之

妻子置きて

捉之

捉えて

見之前路

前の路を見れば

而逼之

逼めて

召之

召せり

吾自知之閻羅王也

吾れ自づから閻羅王なることを知る

膾而噉之

膾にして噉はむ